

まちづくりキャッチフレーズ **人と自然と文化がつくる「キラリと光る新中核都市」**



努力の結晶 二十世紀梨 初出荷

8月23日(木)から、倉吉の秋の味覚である二十世紀梨の出荷が始まり、秋喜の倉吉梨選果場では、初出荷セレモニーが行われました。

セレモニーは、生産農家、梨選果場、輸送業者などからたくさんの方が参加され、JA 鳥取中央の坂根國之組合長が「1年間の努力の成果が決まる時。高い評価が得られるよう頑張ります。よろしくお祈いします」とあいさつされました。

今年は、暖冬や猛暑といった異常気象が続いたにもかかわらず、玉の大きさは去年に比べ一段と大きく、おいしい梨に仕上がりました。

出荷された梨は8月24日(金)から、東京、大阪、中四国など全国で販売されています。

CONTENTS

- 倉吉市名誉市民・横綱琴櫻
 たくさんの感動をありがとう …2～3
- 後期高齢者医療制度 …… 4
- 御幸行列開催/
 第31回倉吉打吹まつりを終えて …5
- 第7回前田寛治大賞展 …… 6
- 防災週間 …… 7
- 出かけてみよう! …… 8～9
- ハート・バリアフリー …… 10
- インフォメーション …… 11～15
- あんしんファイル …… 16

第53代横綱琴櫻 年表

年月	事柄
S15年11月	倉吉市鍛冶町に生まれる
S34年初場所	初土俵(19歳)
S35年初場所	三段目優勝
S37年名古屋場所	新十両・十両優勝(11勝4敗)
S38年初場所	十両優勝(13勝2敗)
〃 春場所	新入幕
S39年初場所6日目 (1月17日)	対横綱柏戸との一戦で負傷(全治3か月)三朝温泉西藤館で温泉療養
〃 名古屋場所	十両西二枚目からの出発
〃 九州場所	再入幕・東十二枚目(10勝5敗)
S40年秋場所	殊勲賞(東筆頭)
S41年九州場所	殊勲賞(小結)
S42年九州場所	新大関(東関脇 11勝4敗)
S43年名古屋場所	初優勝(13勝2敗)
〃 秋場所	左足小指骨折
S44年初場所	左ひざ負傷
〃 春場所	優勝②(13勝2敗)
S45年6月2日	宮崎市の実業家岩下又三さんの二女・章予さんと結婚 (媒酌は大平正芳元総理大臣)
S47年九州場所	優勝③(14勝1敗)
S48年初場所	優勝④(14勝1敗) 第53代横綱昇進(32歳)
S48年名古屋場所	優勝⑤(14勝1敗)
S49年5月	横綱引退(33歳)
〃 7月	佐渡ヶ嶽襲名 佐渡ヶ嶽部屋を継承。親方として琴風、琴歐洲、琴光喜らを育てる
H17年11月	日本相撲協会を定年退職
H19年8月	死去(66歳)



平成17年「桜ずもう」にて撮影

倉吉市名誉市民・横綱琴櫻 たくさんの感動をありがとう



◀ 琴櫻の銅像前には
たくさんのお花が供えられた



▲ 記帳する市民

倉吉市出身で第53代横綱琴櫻、先代佐渡ヶ嶽親方の鎌谷紀雄さんが、8月14日に亡くなられました。66歳でした。鎌谷さんは、現役時代、一気に攻める押し相撲で活躍し、郷土の英雄として広く市民に愛されました。引退後は指導者としての手腕を発揮、多くの関取を育てました。

また、故郷をとっても大切にされる人でもあり、倉吉市のためにご尽力いただきました。今年で29回目を迎えた「桜ずもう(桜杯争奪相撲選手権大会)」は鎌谷さんの功績を顕彰して開催されています。倉吉はもとより、鳥取県の中学生の相撲の発展につながるこのイベントには、毎年、部屋の名力士を連れて倉吉へ

帰っていたいただき、大会を盛り上げてくださいました。相撲を通じて倉吉の名を全国に発信し、倉吉の発展や相撲の普及のためにご尽力いただき、2003年には倉吉市名誉市民に選ばれています。鎌谷さんが亡くなられた後、成徳小学校前にある琴櫻の銅像前には、たくさんのお花が飾られました。また、8月31日まで市役所市民課前に設置された追悼記帳所には、連日たくさんの人々が記帳に訪れ、郷土の英雄の早すぎる死を惜しみました。

倉吉市民に「誇り」と「自信」を与えてくださった琴櫻・鎌谷紀雄さんのご冥福をお祈りいたします。

市長メッセージ

先代佐渡ヶ嶽親方の突然のお別れに当たり、親方の出身地、鳥取県倉吉市民を代表して、日に日に増す寂しさの中にお別れのことばを申し上げます。

今年の異常な暑さは、あなたが通い、汗を流した打吹山麓に、また倉吉農業高校の太子ヶ丘に蝉しぐれが今日も強く鳴き響いています。こうした郷土の気風に育まれた、先代親方、元横綱琴櫻関の相撲歴の生涯は粘り強く、努力すれば必ず報われること、人が持つ底力というものを示していただきました。

今になってみれば、市政50周年を期に郷土が生んだ横綱「琴櫻関」を名誉市民にという声が高まり、存命の方に初めて顕彰をさせていただきました。このような全国的にもまれな選定経過を、親方は大変名誉なことと喜んでいただいたことが、せめてもの慰めであります。

第53代横綱に昇りつめたという足跡をたたとえると同時に、現役を退いて後、倉吉青年会議所が発起して今回で29回を重ね、倉吉の春まつりの中心事業ともいえる桜杯桜ずもう

の精神的支柱となっていたにしていることに対する感謝を捧げる意味が込められていました。親方の志は、現親方の佐渡ヶ嶽親方とお弟子たちに継承され、佐渡ヶ嶽部屋は必ず発展するでありましよう。

今年5月、琴歐洲関の出身地、ブルガリアを訪ねた際、現地の相撲協会の方々は口々に「先代佐渡ヶ嶽親方の人柄にほれ、その気持ちを琴歐洲に託しているのです」とおっしゃっていました。その親方がある時、「琴歐洲は今の日本人力士よりハングリー精神が旺盛だよ。だから強くなるんだ」と目を細めておられたのが忘れられません。

稽古に取り組む姿勢はだれよりも厳しく、しかし周囲には懐の深い、包容力のある、どこまでもふるさと倉吉への愛情に満ちた方でありました。心よりご冥福をお祈りいたします。

倉吉市長 長谷川 稔

8月21日 松戸市斎場にて
故鎌谷紀雄(第53代横綱琴櫻・先代佐渡ヶ嶽慶兼)儀合同葬
における倉吉市長弔辞より

「遙かな町へ」はお休みさせていただきます



断髪式
昭和50年2月1日



初優勝(名古屋場所)
昭和43年7月21日



十両優勝
昭和37年7月8日



子どもたちを暖かく見守る
平成18年「桜ずもう」にて

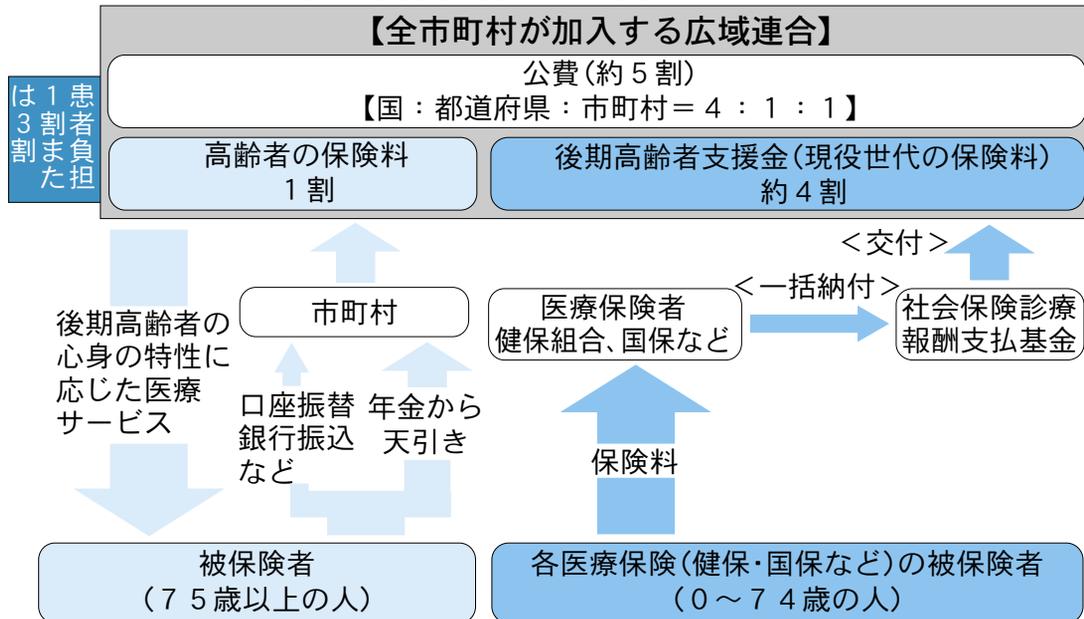


奉納土俵入り(熱田神宮)昭和49年7月2日
所蔵 早田ケイ子さん

「後期高齢者医療制度」

が始まります

後期高齢者医療制度の仕組み



後期高齢者医療制度とは、急速な高齢化社会に対応するため、現在の「老人保健制度」に替わり、平成20年4月から始まる75歳以上の高齢者全員が加入する医療保険制度です。

1. 運営主体

47都道府県すべてに、その都道府県内のすべての市町村が加入する広域連合を作り、後期高齢者医療制度の運営にあたります。

鳥取県においても、平成19年2月1日に県内全市町村が加入する「鳥取県後期高齢者医療広域連合」が発足し、湯梨浜町役場東郷庁舎内に事務所が設置され、平成20年4月の制度施行に向けて準備が進められています。

○広域連合の役割

- ・医療給付
- ・保険料の決定、賦課
- ・被保険者の資格管理 など
- 市町村の役割
- ・各種申請や届け出の受付
- ・保険料の徴収
- ・保険証の引き渡し などの窓口業務

2. 被保険者

鳥取県内に住む75歳以上の人および65歳から74歳の寝たきりなどの一定の障害がある人が被保険者となります。現行の老人保健制度における老人医療対象者と同じです。鳥

取県内の対象者は、約8万人と見込まれています。

現在、国民健康保険、健康保険、共済組合などに加入している人(扶養になつていない人を含む)で老人医療対象者は、平成20年3月末で資格喪失となり、新しく後期高齢者医療制度に加入することになります。また、平成20年4月以降に75歳の誕生日を迎える人は、75歳の誕生日当日から後期高齢者医療制度の被保険者となります。

3. 保険給付

被保険者の皆さんが病気やけがで医療機関にかかったときの医療費など、これまでの老人保健制度と同様の給付が受けられます。

4. 費用負担

医療機関にかかったときの窓口負担は、これまでの老人保健制度と同じで、一般の人は1割負担、現役並み所得のある人は3割負担となります。後期高齢者の医療にかかる

5. 後期高齢者支援金

費用のうち、医療機関で支払う窓口負担金を除いた分を、公費(国、都道府県、市町村)が約5割を負担し、現役世代の保険料が約4割を負担し(これを後期高齢者支援金といいます)、残りの1割を後期高齢者の皆さんが保険料として納めます。

老人保健制度では、各医療保険者(国保・健保など)が拠出金として、それぞれの老人医療受給者の医療費額などに応じて費用負担していました。後期高齢者支援金に関しては、各医療保険者がそれぞれの加入者数(0歳から74歳の加入者数)に応じて負担することになります。具体的には、それぞれの医療保険者は、被保険者から支援金に相当する分も併せて保険料として徴収し、それを社会保険診療報酬支払基金に支払い、これを財源として社会保険診療報酬支払基金が後期高齢者の支援金として広域連合に交付していく仕組みとなります。